

入札状況の常時監視
報告書
(令和元年度)

令和2年11月
名古屋市

目次

はじめに	1
1 入札状況の常時監視の概要	
(1) 目的	2
(2) 対象	2
(3) 内容	2
(4) 公表	2
(5) 常時監視の流れ	3
(6) 監視体制	4
(7) 公正入札アドバイザー	5
2 全件分析の概要	
(1) 発注件数・落札金額	6
(2) 平均入札者数・平均落札率	6
3 詳細分析の概要	
(1) 個別業種分析	
ア 配水管布設工事	12
イ 管工事	14
ウ 舗装工事	16
(2) 特殊要因分析	
ア 単価契約	18
イ 機械・電気設備工事	20
ウ 地下鉄軌道関連工事	20
エ 入札不調の発生状況	22
オ 再入札工事	22
(3) 積算内訳書の抽出確認	25
まとめ	26
●参考（これまでの主な入札制度改善・用語の解説）	27

はじめに

これまで本市は、電子入札の導入、一般競争入札の拡大といった談合が行われにくい制度づくりや、談合が行われた際のペナルティ強化などに取り組んできました。しかし、平成18年以降、全国各地で公共工事を巡る談合事件が相次いで摘発された中で、本市の工事を舞台とした事件も起こりました。

これらの事件をきっかけとして、さらに「談合行為を見逃さない」という観点を新たに加え、本市が行うすべての工事に係る入札状況について点検するとともに、その情報を市民の皆様と共有することといたしました。その取り組みが、全国で初の試みとして平成19年4月からスタートした「入札状況の常時監視」です。

この報告書は、令和元年度における「入札状況の常時監視」の1年分の結果を取りまとめたものです。

今後とも、公正な入札の確保に向けて一層努力してまいります。

令和2年11月

1 入札状況の常時監視の概要

(1) 目的

- 談合等不正行為の早期発見と抑止
- 監視結果の公表による本市の入札、契約手続の透明性・公正性の向上

(2) 対象

令和元年度に契約を締結した工事の入札

(3) 内容

公正入札アドバイザーの指導・助言を得て、前月分の入札結果を分析し、入札に不自然な状況がないか監視

談合等が疑われるような場合には、本市公正入札調査委員会が、公正入札アドバイザーに指導・助言を求めながら調査を行い、調査結果を公正取引委員会へ通報

ア 全件分析

すべての工事の入札について、業種ごとに入札者数、落札率等を取りまとめ

イ 詳細分析

業種・案件を絞り込み、入札状況を詳細に分析

※ “ア” 及び “イ” の分析は、1 箇月サイクルで実施

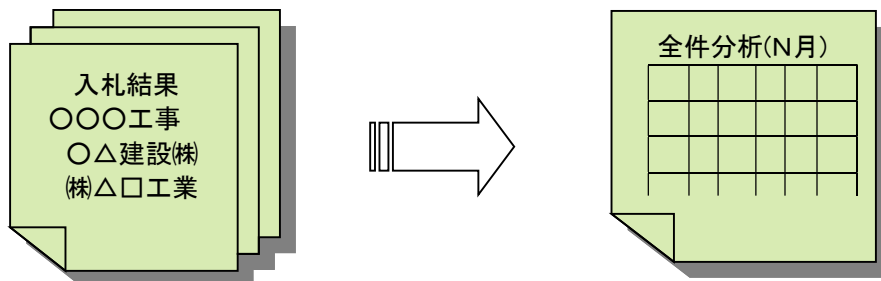
(4) 公表

全件分析結果については、毎月本市ウェブサイトにて公表

(5) 常時監視の流れ

ア 入札結果の集計・・・入札月の翌月初旬

毎月の入札結果から、入札方法別・業種別に入札者数及び落札率を集計



イ 全件分析と詳細分析対象業種の絞り込み・・・入札月の翌月初旬

集計結果を基に業種ごとの傾向を踏まえ、詳細分析を行う業種を絞り込む。



ウ 詳細分析・・・入札月の翌月中旬～下旬

“イ”で絞り込みを行った業種について、工事内容や入札参加状況などを分析するとともに、必要に応じて複数月にわたる分析を実施



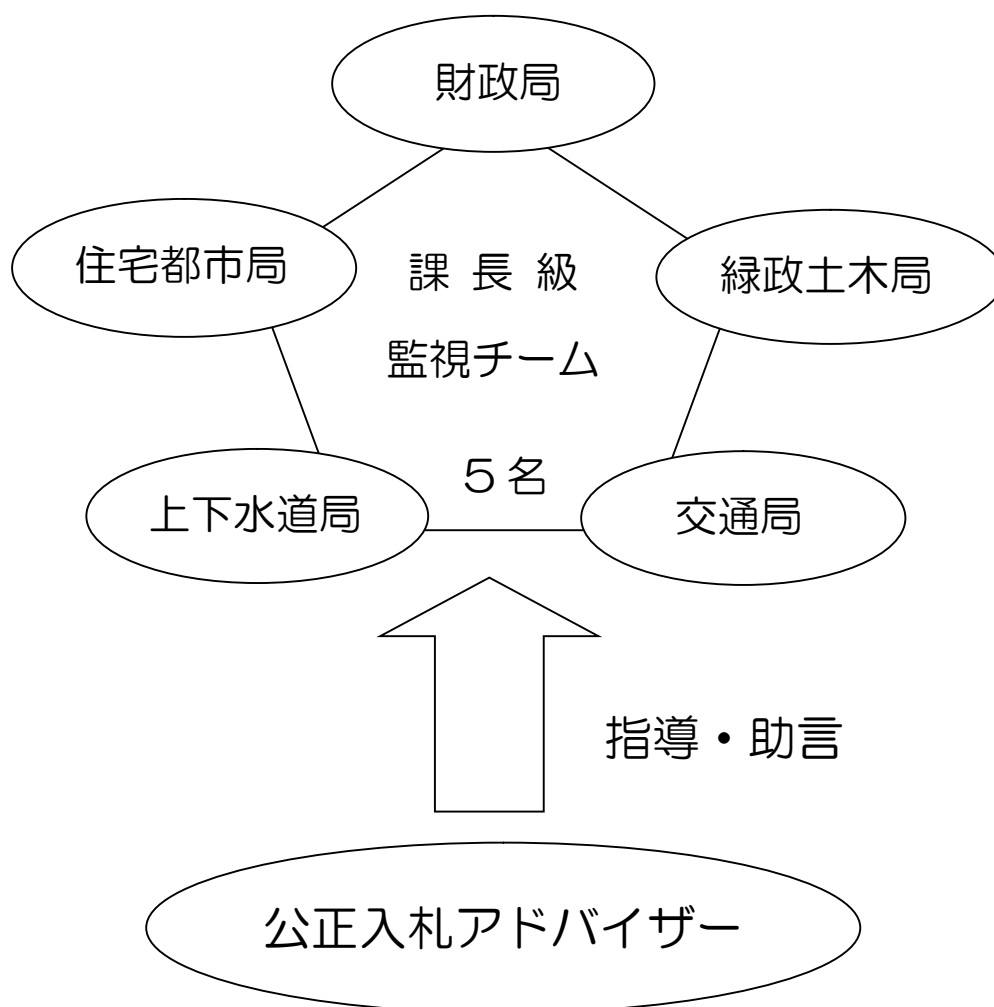
エ 公表・・・入札月の翌々月初旬

全件分析結果について、本市ウェブサイトで公表



(6) 監視体制

財政局と各工事担当局の課長級職員により構成する専門の「監視チーム」が公正入札アドバイザーの指導・助言を得ながら入札状況を監視



(7) 公正入札アドバイザー

(令和2年11月現在)

氏名	職業（プロフィール）
長谷川 鉦治	弁護士 (元名古屋地方検察庁検事)

2 全件分析の概要

令和元年度契約分の入札全件について、工事の業種ごとに参加者数・落札率等を取りまとめました。

(1) 発注件数・落札金額

- 29業種で合計2,280件の入札が行われ、このうち1,667件(約73%)が一般競争入札でした。
- 総落札金額(単価契約分を除く。以下同じ。)は約846億円、このうち約831億円(約98%)が一般競争入札により行われました。
- 発注件数(入札不調を除く。以下同じ。)は、一般土木(296件)、舗装(244件)、電気(214件)、下水道(206件)、配水管布設(196件)の順で多く、この5業種で全体の約5割を占めました。
- 総落札金額は、下水道(約141億円)、建築(約104億円)、一般土木(約104億円)、配水管布設(約82億円)、電気(約78億円)の順で多く、この5業種で全体の約6割を占めました。

(以上、資料1-1、1-2)

(2) 平均入札者数・平均落札率

- 一般競争入札の平均入札者数は7.0者、平均落札率は91.5%、指名競争入札の平均入札者数は3.6者、平均落札率は92.3%でした。
- 入札全体では、前年度と比べて平均入札者数は0.6者少なく、平均落札率は0.2ポイント高くなっています。
- 平均入札者数は、前年度と同様に、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて多く、その差は前年度よりも小さくなりました。
(前年度 3.7者 → 令和元年度 3.4者)
- 平均落札率は、前年度と同様に、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて低くなっており、その差は前年度よりも小さくなりました。

(前年度 1.5ポイント → 令和元年度 0.8ポイント)

- 一般競争入札と指名競争入札の両方で発注があった 21 業種のうち、一般競争入札の方が指名競争入札に比べ平均入札者数が少なかった業種は「一般土木」「特殊電気」「内装仕上」「水・汚泥処理設備」「造園」の 5 業種でした。また、一般競争入札の方が指名競争入札に比べ平均落札率が高かった業種は、「一般土木」「道路標識設置」「特殊電気」「舗装」「内装仕上」「水・汚泥処理設備」「電気通信」「造園」の 8 業種でした。

(以上、資料 1-1、1-2)

- 発注金額階層別（予定価格で算出。単価契約を除く。）の平均落札率を見ると、1,000 万円未満の発注金額階層別の工事においては 1,000 万円以上の工事の平均落札率に比べやや高い傾向が見られました。

(資料 2)

- 入札者数別で見ると、入札全体では前年度と同様に、入札者数が多くなるほど平均落札率が低くなる傾向が見られました。

(資料 3)

全件の入札状況(令和元年度)

業種	件数	平均入札者数	平均落札率
一般土木	296	4.3	89.7%
下水道	206	9.1	90.5%
軌道	11	1.0	99.1%
水道	12	4.0	93.5%
配水管布設	196	9.6	90.0%
建築	128	3.2	93.7%
とび・土工・コンクリート	63	3.2	91.6%
道路標識設置	5	7.4	92.6%
解体	13	8.2	90.1%
電気	214	6.2	93.7%
屋外照明	87	11.4	90.7%
特殊電気	17	1.2	97.5%
受変電	43	12.6	93.3%
管	178	7.6	92.3%
鋼構造物	13	4.3	90.7%
舗装	244	8.8	88.3%
しゅんせつ	2	1.5	89.8%
塗装	21	6.0	87.5%
区画線設置	22	12.4	92.3%
防水	7	6.0	90.5%
内装仕上	2	3.0	90.8%
畳	2	8.0	93.5%
機械設備	165	1.8	95.4%
水・汚泥処理設備	79	2.6	94.0%
計装設備	63	1.1	97.7%
電気通信	33	3.5	94.4%
造園	131	3.0	91.6%
建具	2	4.0	90.5%
消防施設	25	4.6	91.6%
合計	2,280	6.1	91.7%
前年度(合計)	2,314	6.7	91.5%

全件の入札状況(詳細)(令和元年度)

業種	入札方式	一般競争入札					指名競争入札					入札合計				
		件数 (件)	平均 入札者数 (者)	平均 落札率	落札金額(税抜き)		件数 (件)	平均 入札者数 (者)	平均 落札率	落札金額(税抜き)		件数 (件)	平均 入札者数 (者)	平均 落札率	落札金額(税抜き)	
					総額 (千円)	構成比				総額 (千円)	構成比				総額(千円)	構成比
一般土木		191	4.2	91.1%	10,313,672	12.18%	105	4.4	87.3%	39,960	0.05%	296	4.3	89.7%	10,353,632	12.23%
下水道		200	9.3	90.4%	14,119,373	16.68%	6	3.0	94.8%	20,132	0.02%	206	9.1	90.5%	14,139,506	16.70%
軌道		11	1.0	99.1%	481,359	0.57%	-	-	-	-	-	11	1.0	99.1%	481,359	0.57%
水道		12	4.0	93.5%	1,569,977	1.85%	-	-	-	-	-	12	4.0	93.5%	1,569,977	1.85%
配水管布設		194	9.7	90.0%	8,165,349	9.65%	2	2.5	93.4%	10,943	0.01%	196	9.6	90.0%	8,176,291	9.66%
建築		114	3.4	93.3%	10,359,629	12.24%	14	1.4	96.2%	76,360	0.09%	128	3.2	93.7%	10,435,990	12.33%
とび・土エ・コンクリート		51	3.3	91.1%	1,095,934	1.29%	12	2.7	93.8%	40,018	0.05%	63	3.2	91.6%	1,135,952	1.34%
道路標識設置		1	13.0	92.8%	33,500	0.04%	4	6.0	92.5%	18,870	0.02%	5	7.4	92.6%	52,370	0.06%
解体		12	8.8	90.1%	830,579	0.98%	1	2.0	90.0%	3,708	0.00%	13	8.2	90.1%	834,287	0.99%
電気		151	8.2	92.8%	7,524,195	8.89%	63	1.5	95.9%	261,236	0.31%	214	6.2	93.7%	7,785,431	9.20%
屋外照明		24	21.8	87.6%	289,749	0.34%	63	7.5	91.9%	66,377	0.08%	87	11.4	90.7%	356,126	0.42%
特殊電気		9	1.0	98.5%	212,708	0.25%	8	1.4	96.4%	31,223	0.04%	17	1.2	97.5%	243,931	0.29%
受変電		32	16.6	92.0%	1,199,774	1.42%	11	1.1	97.4%	29,028	0.03%	43	12.6	93.3%	1,228,802	1.45%
管		141	8.8	92.3%	7,023,490	8.30%	37	2.9	92.7%	113,699	0.13%	178	7.6	92.3%	7,137,189	8.43%
鋼構造物		13	4.3	90.7%	1,080,226	1.28%	-	-	-	-	-	13	4.3	90.7%	1,080,226	1.28%
舗装		189	9.6	88.5%	5,020,285	5.93%	55	6.0	87.5%	71,919	0.08%	244	8.8	88.3%	5,092,204	6.02%
しゅんせつ		2	1.5	89.8%	142,451	0.17%	-	-	-	-	-	2	1.5	89.8%	142,451	0.17%
塗装		21	6.0	87.5%	728,029	0.86%	-	-	-	-	-	21	6.0	87.5%	728,029	0.86%
区画線設置		13	15.4	91.9%	196,908	0.23%	9	8.0	92.9%	30,170	0.04%	22	12.4	92.3%	227,078	0.27%
防水		7	6.0	90.5%	94,124	0.11%	-	-	-	-	-	7	6.0	90.5%	94,124	0.11%
内装仕上		1	1.0	91.6%	6,280	0.01%	1	5.0	90.0%	2,946	0.00%	2	3.0	90.8%	9,226	0.01%
畳		-	-	-	-	-	2	8.0	93.5%	9,167	0.01%	2	8.0	93.5%	9,167	0.01%
機械設備		87	2.0	94.7%	4,559,245	5.39%	78	1.6	96.3%	290,250	0.34%	165	1.8	95.4%	4,849,495	5.73%
水・汚泥処理設備		32	2.2	95.4%	3,280,503	3.88%	47	2.9	93.0%	214,527	0.25%	79	2.6	94.0%	3,495,030	4.13%
計装設備		37	1.1	97.3%	767,500	0.91%	26	1.1	98.2%	94,791	0.11%	63	1.1	97.7%	862,291	1.02%
電気通信		24	4.1	94.6%	999,468	1.18%	9	1.8	93.8%	29,527	0.03%	33	3.5	94.4%	1,028,995	1.22%
造園		78	2.4	92.5%	1,818,622	2.15%	53	3.9	90.2%	96,242	0.11%	131	3.0	91.6%	1,914,864	2.26%
建具		-	-	-	-	-	2	4.0	90.5%	8,550	0.01%	2	4.0	90.5%	8,550	0.01%
消防施設		20	5.2	91.3%	1,154,875	1.36%	5	2.4	92.6%	19,172	0.02%	25	4.6	91.6%	1,174,047	1.39%
合計		1,667	7.0	91.5%	83,067,803	98.13%	613	3.6	92.3%	1,578,815	1.87%	2,280	6.1	91.7%	84,646,618	100%
前年度(合計)		1,663	7.7	91.1%	92,216,502		651	4.0	92.6%	2,316,304		2,314	6.7	91.5%	94,532,806	

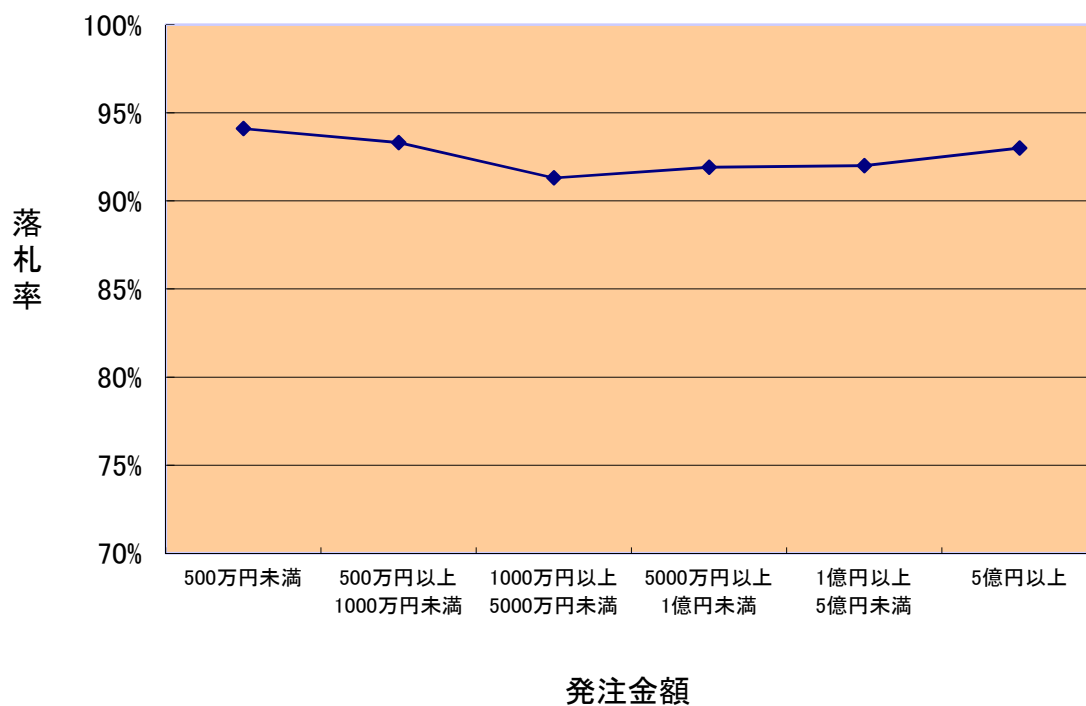
※落札金額は、単価契約(一般競争入札53件、指名競争入札237件)を除く。

※構成比は、入札工事落札金額合計に対する割合。

発注金額階層別入札状況（令和元年度）

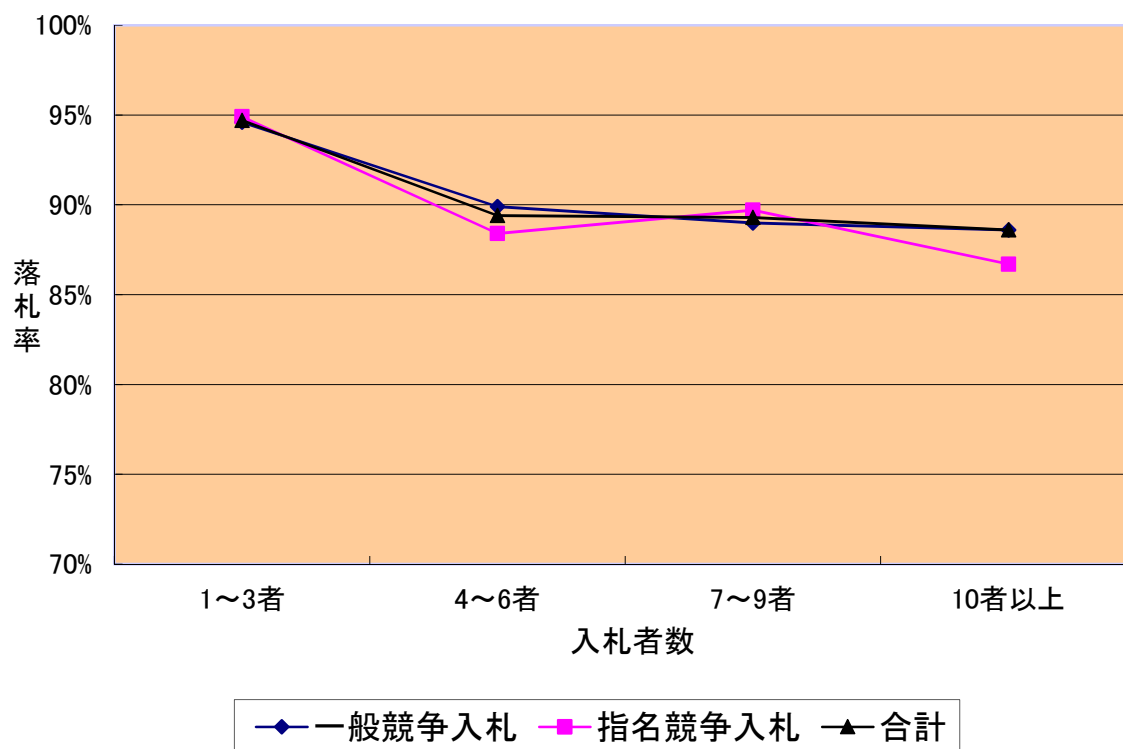
発注金額	件数(件)	落札金額総額(千円)	構成比	平均落札率
5億円以上	13	10,912,159	12.9%	93.0%
1億円以上	183	32,602,160	38.5%	92.0%
5000万円以上	280	17,828,694	21.1%	91.9%
1000万円以上	879	20,202,496	23.9%	91.3%
500万円以上	314	2,152,682	2.5%	93.3%
500万円未満	321	948,427	1.1%	94.1%
合計	1,990	84,646,618	100%	92.2%

※単価契約を除く。発注金額、落札金額は税抜き。



入札者数別入札状況（令和元年度）

入札方式 入札者数	一般競争入札		指名競争入札		合計	
	件数(件)	平均落札率	件数(件)	平均落札率	件数(件)	平均落札率
1～3者	739	94.6%	351	94.9%	1,090	94.7%
4～6者	294	89.9%	145	88.4%	439	89.4%
7～9者	198	89.0%	106	89.7%	304	89.3%
10者以上	436	88.6%	11	86.7%	447	88.6%
合計	1,667	91.5%	613	92.3%	2,280	91.7%



3 詳細分析の概要

令和元年度契約分の入札について、業種・案件を絞り込んだ個別の業種毎の分析（以下「個別業種分析」という。）を行いました。個別業種分析の対象は、「配水管布設」「管」「舗装」の3業種としました。この他、工事の内容などの特殊要因に着目した分析（以下「特殊要因分析」という。）と、入札時に事業者が提出した積算内訳書の内容について確認を行いました。

（1）個別業種分析

ア 配水管布設工事（資料4）

B等級（予定価格（税込）2,000万円以上5,000万円未満）に対応する発注金額階層の工事では、平均入札者数が前年度と比較して多くなり、平均落札率が前年度と比較して低くなりました。それ以外の発注金額階層の工事では、平均入札者数が前年度と比較して少なくなり、平均落札率が前年度と比較して高くなりました。

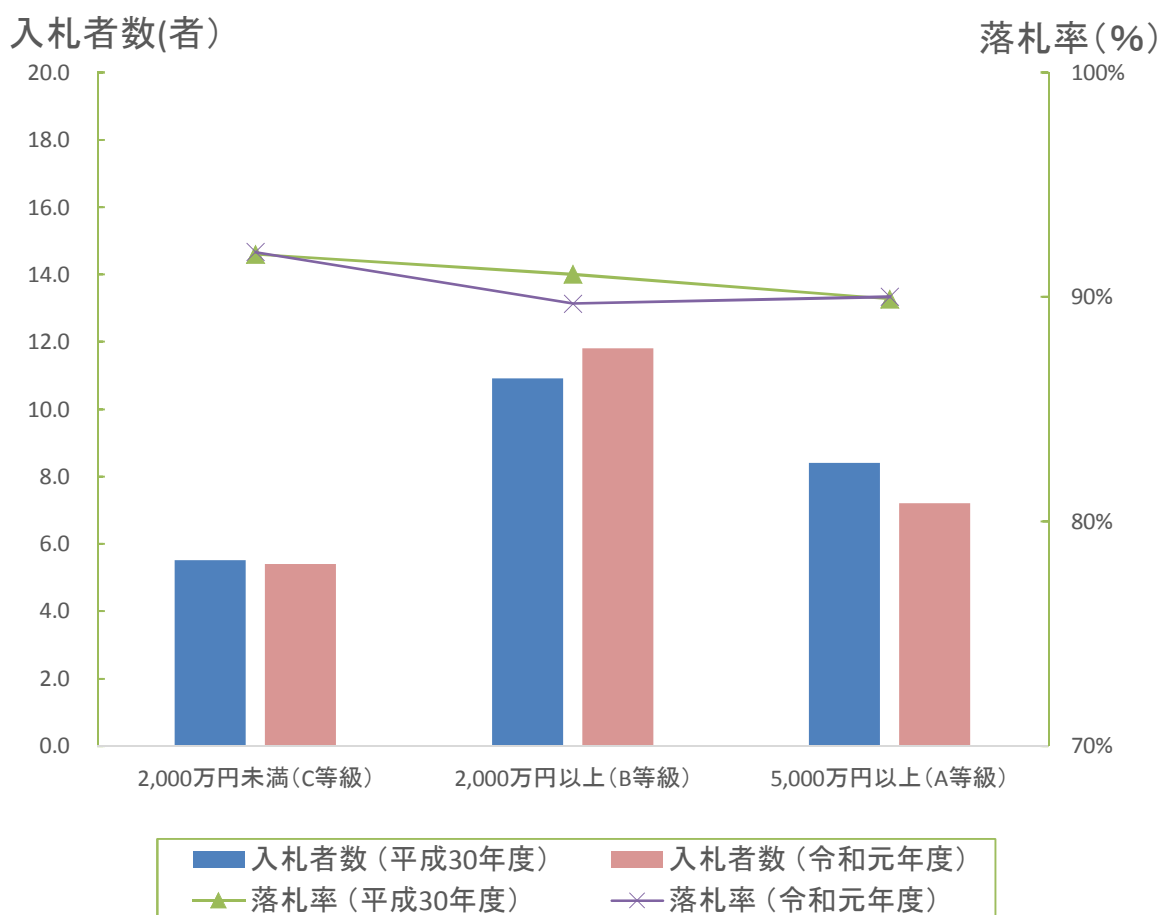
全体としては、前年度と比較して平均入札者数は0.1者少なくなり、平均落札率は0.6ポイント低くなりました。

なお、金額階層別入札件数は、前年度と同様に、最も多い階層が2,000万円以上5,000万円未満の工事（約48%）であり、前年度（約51%）と比べて低くなりました。平均発注金額をみると、前年度（約4,797万円）と比べて約5,416万円と高くなりました。

発注金額階層別入札状況(配水管布設)(平成30・令和元年度)

発注金額(対応等級)	平成30年度			令和元年度		
	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率
5,000万円以上(A等級)	68	8.4	89.9%	75	7.2	90.0%
2,000万円以上(B等級)	93	10.9	91.0%	89	11.8	89.7%
2,000万円未満(C等級)	21	5.5	91.9%	20	5.4	92.0%
合計	182	9.3	90.7%	184	9.2	90.1%
平均発注金額	4,797万円			5,416万円		

※単価契約を除く。金額は税込み。



イ 管工事（資料5）

発注金額階層別の平均入札者数については、全ての発注金額階層で前年度と比較して少なくなりました。平均落札率については、A 等級（予定価格（税込）8,000 万円以上）に対応する発注金額階層の工事を除き、前年度と比較して高くなりました。

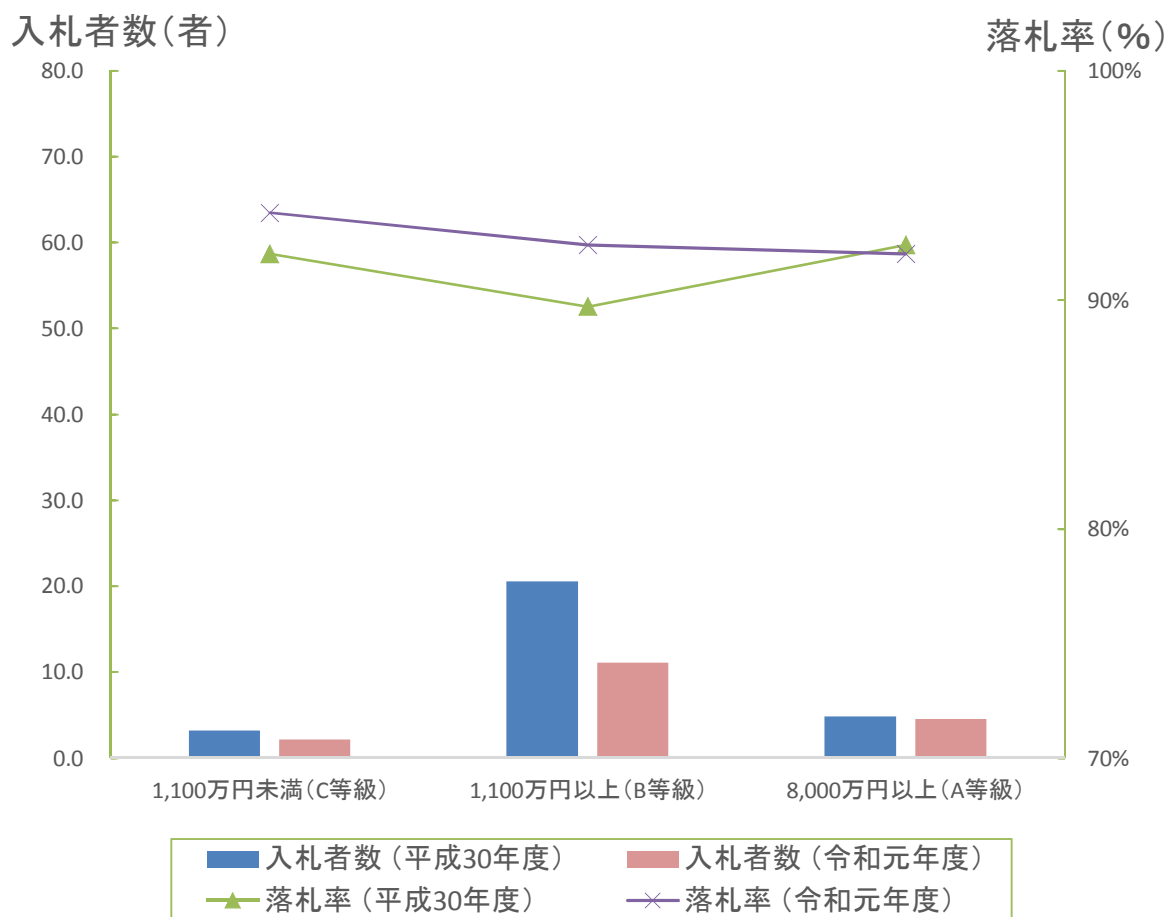
全体としては、前年度と比較して平均入札者数は 4.6 者少なくなり、平均落札率は 1.7 ポイント高くなりました。

なお、金額階層別入札件数は、前年度と同様に、最も多い階層が 1,100 万円以上 8,000 万円未満の工事（60%）であり、前年度（約 52%）と比べて高くなりました。平均発注金額をみると、前年度（約 4,703 万円）と比べて約 5,314 万円と高くなりました。

発注金額階層別入札状況(管)(平成30・令和元年度)

発注金額(対応等級)	平成30年度			令和元年度		
	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率
8,000万円以上(A等級)	28	4.8	92.4%	31	4.5	92.0%
1,100万円以上(B等級)	86	20.5	89.7%	96	11.1	92.4%
1,100万円未満(C等級)	51	3.2	92.0%	33	2.1	93.8%
合計	165	12.5	90.9%	160	7.9	92.6%
平均発注金額	4,703万円			5,314万円		

※単価契約を除く。金額は税込み。



ウ 舗装工事（資料6）

発注金額階層別の平均入札者数については、A 等級（予定価格（税込）5,000 万円以上）に対応する発注金額階層の工事を除き、前年度と比較して多くなりました。平均落札率については、A 等級に対応する発注金額階層の工事では前年度と比較して高くなり、それ以外の工事では前年度と比較して低くなりました。

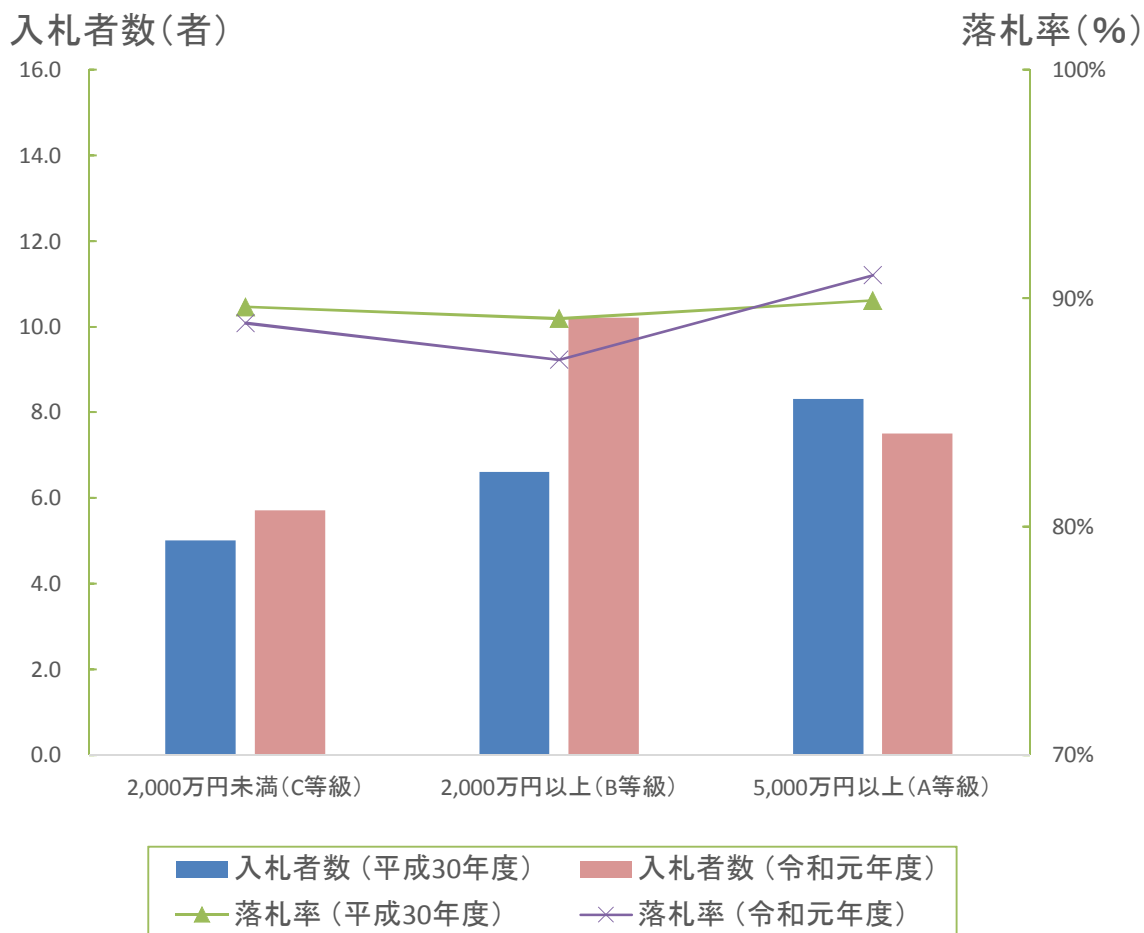
全体としては、前年度と比較して平均入札者数は 1.5 者多くなり、平均落札率は 0.7 ポイント低くなりました。

なお、金額階層別入札件数は、前年度と同様に、最も多い階層が 2,000 万円未満の工事（約 47%）であり、前年度（約 54%）と比べて低くなりました。平均発注金額をみると、前年度（約 2,641 万円）と比べて約 3,317 万円と高くなりました。

発注金額階層別入札状況(舗装)(平成30・令和元年度)

発注金額(対応等級)	平成30年度			令和元年度		
	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率
5,000万円以上(A等級)	32	8.3	89.9%	37	7.5	91.0%
2,000万円以上(B等級)	70	6.6	89.1%	62	10.2	87.3%
2,000万円未満(C等級)	121	5.0	89.6%	89	5.7	88.9%
合計	223	6.0	89.5%	188	7.5	88.8%
平均発注金額	2,641万円			3,317万円		

※単価契約を除く。金額は税込み。



(2) 特殊要因分析

ア 単価契約（資料 7）

単価契約における平均入札者数は、前年度と同様に、一般競争入札及び指名競争入札ともに総価契約に比べて多くなりました。また、平均落札率は、前年度と同様に、一般競争入札及び指名競争入札ともに総価契約に比べて低くなりました。この結果は、「建築」の指名競争入札を除いて、単価契約を行ったいずれの業種においても同様となっています。

入札状況の常時監視の取組み当初は、一般競争入札での単価契約は総価契約と比べて、平均入札者数は少なく、平均落札率は高くなっていました。

しかし、単価契約の発注規模や工事内容を見直したことで競争性が高まり、平成 25 年度からその状況は逆転しました。この傾向は、令和元年度においても継続しています。

単価契約を行っている業種（令和元年度）

業種	入札方式	一般競争入札			指名競争入札		
		件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率
一般土木		191	4.2	91.1%	105	4.4	87.3%
	(単価契約)	—	—	—	94	4.6	86.6%
	(総価契約)	191	4.2	91.1%	11	2.6	93.1%
下水道		200	9.3	90.4%	6	3.0	94.8%
	(単価契約)	25	20.8	89.3%	—	—	—
	(総価契約)	175	7.7	90.5%	6	3.0	94.8%
配水管布設		194	9.7	90.0%	2	2.5	93.4%
	(単価契約)	12	16.4	89.8%	—	—	—
	(総価契約)	182	9.3	90.0%	2	2.5	93.4%
建築		114	3.4	93.3%	14	1.4	96.2%
	(単価契約)	—	—	—	1	2.0	99.1%
	(総価契約)	114	3.4	93.3%	13	1.4	95.9%
屋外照明		24	21.8	87.6%	63	7.5	91.9%
	(単価契約)	—	—	—	50	7.7	91.7%
	(総価契約)	24	21.8	87.6%	13	6.5	92.8%
管		141	8.8	92.3%	37	2.9	92.7%
	(単価契約)	—	—	—	18	4.3	90.2%
	(総価契約)	141	8.8	92.3%	19	1.5	95.0%
舗装		189	9.6	88.5%	55	6.0	87.5%
	(単価契約)	16	28.0	88.0%	40	7.0	85.9%
	(総価契約)	173	7.9	88.5%	15	3.6	91.8%
造園		78	2.4	92.5%	53	3.9	90.2%
	(単価契約)	—	—	—	34	4.2	89.6%
	(総価契約)	78	2.4	92.5%	19	3.2	91.4%
合計		1,131	7.7	90.7%	335	4.8	89.8%
	(単価契約)	53	22.0	89.0%	237	5.5	88.3%
	(総価契約)	1,078	7.0	90.8%	98	3.0	93.4%

イ 機械・電気設備工事（資料 8）

機械及び電気設備にかかる工事（電気、特殊電気、受変電、機械設備、水・汚泥処理設備、計装設備、電気通信、消防施設）については、既設工事か新設工事かで、入札者数や落札率に大きな差が見られるものが多くあります。既設工事の場合は、新設工事と比べて平均入札者数は 3.1 者少なく、平均落札率は 3.7 ポイント高くなっています。

これは、既設工事が主に技術的な理由から、当該機械設備等の製造者やその関連の事業者に参加者が限られてくるためであると考えられ、前年度と同様の結果になっています。

ウ 地下鉄軌道関連工事（資料 9）

地下鉄軌道関連工事については、入札者数が少なく、落札率が高くなる傾向がみられました。

これは、地下鉄軌道関連工事が軌道内における改修工事であり、特に安全確保が求められること、作業が主に深夜の限られた時間となるなど、施工にあたり制約条件が多いこと等が競争性低下の原因になったと考えられ、前年度と同様の結果になっています。

機械・電気設備工事(令和元年度)

区分 業種	既設工事			新設工事		
	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率
電気	192	5.8	94.1%	22	9.8	90.7%
特殊電気	17	1.2	97.5%	-	-	-
受変電	42	12.5	93.5%	1	15.0	87.0%
機械設備	150	1.6	95.9%	15	3.9	90.7%
水・汚泥処理設備	78	2.6	93.9%	1	1.0	99.3%
計装設備	62	1.1	97.6%	1	1.0	99.8%
電気通信	32	3.6	94.4%	1	1.0	92.0%
消防施設	25	4.6	91.6%	-	-	-
合計	598	4.0	94.8%	41	7.1	91.1%

地下鉄軌道関連工事分析(令和元年度)

区分 業種	地下鉄軌道関連工事			左記以外の工事		
	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率
軌道	11	1.0	99.1%	-	-	-
建築	1	1.0	97.6%	127	3.2	93.6%
とび・土エ・ コンクリート	3	1.0	97.3%	60	3.3	91.3%
電気	7	2.1	93.3%	207	6.3	93.7%
特殊電気	10	1.2	97.3%	7	1.1	97.8%
管	7	1.1	96.8%	171	7.8	92.2%
合計	39	1.3	97.0%	572	5.7	93.0%

エ 入札不調の発生状況（資料10）

令和元年度は、第2四半期から第3四半期にかけて入札不調が増加しました。その後、年度末に向けて減少しているものの、前年度と比較して入札不調の発生率が高く、全体として1.1ポイント入札不調の発生率が増加しました。入札不調の発生には、建設需要が増加し、現場に配置すべき技術者等が不足したことなどが影響しているものと考えられます。

なお、本市では、入札参加資格の緩和、最新の単価による積算、発注時期の平準化など様々な手立てを講じて入札不調の防止に努めており、今後も引き続き、入札参加資格の緩和等の入札不調防止策を講じていきたいと考えています。

オ 再入札工事（資料11）

当初発注時の入札において入札参加者が無かった等のため不調となった工事について、再発注後の入札者数と落札率を当初発注で入札が成立した工事と比較すると、平均入札者数は3.8者少なく、平均落札率は3.6ポイント高くなっています。

これは、工事内容（場所が点在している、交通量が多い、時間的制約や特別な安全対策が必要等）などから当初発注入札が不調となった工事については、再発注時に設計内容の見直し等を行ってもなお、競争性が低くなる傾向があったと考えられ、前年度と同様の結果になっています。

入札不調の発生状況(令和元年度)

区 分	総入札件数 (件)	入札不調件数 (件)	入札不調発生率
第1四半期 (4月～6月)	636	32	5.0%
	(698)	(25)	(3.6%)
第2四半期 (7月～9月)	844	86	10.2%
	(796)	(80)	(10.1%)
第3四半期 (10月～12月)	684	102	14.9%
	(647)	(86)	(13.3%)
第4四半期 (1月～3月)	375	39	10.4%
	(405)	(41)	(10.1%)
合 計	2,539	259	10.2%
	(2,546)	(232)	(9.1%)

※1 入札不調とは、入札参加者が無かったもの及び入札参加者はあったが落札者が無かったものをいう。

※2 総入札件数には、入札不調件数を含む。

※3 括弧内は前年度実績を掲載。

再入札工事分析(令和元年度)

区分 業種	再入札工事			当初発注で入札が成立した工事		
	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率
一般土木	15	2.3	93.5%	281	4.4	89.5%
下水道	9	3.9	93.2%	197	9.4	90.4%
水道	1	1.0	99.0%	11	4.3	93.0%
配水管布設	4	6.5	93.4%	192	9.7	90.0%
建築	13	1.5	94.7%	115	3.4	93.5%
とび・土工・コンクリート	7	2.0	95.2%	56	3.3	91.2%
電気	9	2.1	97.6%	205	6.4	93.6%
屋外照明	1	33.0	80.0%	86	11.2	90.9%
管	15	1.5	97.2%	163	8.1	91.9%
舗装	5	3.2	92.9%	239	8.9	88.2%
塗装	1	3.0	86.7%	20	6.1	87.5%
区画線設置	1	9.0	92.6%	21	12.5	92.3%
内装仕上	1	1.0	91.6%	1	5.0	90.0%
機械設備	5	1.0	97.7%	160	1.8	95.4%
水・汚泥処理設備	1	1.0	99.7%	78	2.6	93.9%
計装設備	6	1.0	97.6%	57	1.1	97.7%
造園	12	1.8	94.9%	119	3.1	91.2%
建具	1	4.0	89.2%	1	4.0	91.9%
消防施設	1	1.0	99.9%	24	4.8	91.2%
合計	108	2.5	95.0%	2,026	6.3	91.4%

※1 再入札工事とは、当初発注で入札不調となった工事を再発注し、入札が成立したものをいう。

※2 再入札工事がなかった業種(10業種、146件)を除く。

(3) 積算内訳書の抽出確認

前年度に引き続き、令和元年度契約分の入札から落札率が比較的高い事例などを抽出し、入札時に事業者が提出した積算内訳書の内容について確認を行った結果、不自然な記載は発見されませんでした。

なお、抽出確認を行った業種別件数は以下のとおりです。

一般土木	1 件
配水管布設	1 件
電気	4 件
管	1 件
舗装	1 件

合計 5 業種 8 件

まとめ

「入札状況の常時監視」は、「談合等不正行為の早期発見と抑止」を目的に、本市が行う工事に係る入札状況について分析・公表を行っています。

全体分析において、令和元年度の傾向を前年度と比較すると、

① 平均入札者数

- ・ 入札全体では、前年度と比べて0.6者少なくなっている。
- ・ 前年度と同様に、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて多くなっており、その差は縮小した。

(前年度 3.7者 → 令和元年度 3.4者)

② 平均落札率

- ・ 入札全体では、前年度と比べて0.2ポイント高くなっている。
- ・ 発注金額階層別では1,000万円未満の工事においてやや高い傾向が見られた。
- ・ 前年度と同様に、一般競争入札の方が指名競争入札と比べて低くなっており、その差は縮小した。

(前年度 1.5ポイント → 令和元年度 0.8ポイント)

③ 平均入札者数と平均落札率の関係

- ・ 入札全体では、前年度と同様に、入札者数が多いほど落札率が低い傾向が見られる。

ということが確認されました。

詳細分析において、個別業種分析では前年度と比較分析したところ、管工事において平均入札者数が4.6者少なくなっているものの、それ以外の平均入札者数及び平均落札率に大きな差は見られませんでした。また、特殊要因分析では、特殊要因ごとの平均入札者数及び平均落札率において前年度と同様の傾向が見られました。

以上の分析の結果、談合等不正行為の事実の確認に至った入札はありませんでしたが、本常時監視に関する情報提供を通じ、関係機関とも連携を図りながら、今後とも談合等不正行為のない公正な入札確保に努めていきたいと考えています。

●参考

(これまでの主な入札制度改善)

一般競争入札の拡大

本市では、競争性等の向上のため、一般競争入札を拡大してきました。

平成 8 年 4 月	予定価格 21 億 6,000 万円以上（政府調達協定適用（当時））の工事について一般競争入札を実施
平成 15 年 10 月	予定価格 6 億円以上の工事に拡大
平成 18 年 4 月	予定価格 5,000 万円以上の工事に拡大
平成 20 年 4 月	予定価格 1,000 万円以上の工事に拡大

予定価格の事前公表

本市では、透明性を向上させるため、次のように予定価格の事前公表の実施を拡大してきました。

平成 16 年 7 月	工事の全ての入札について実施
平成 18 年 4 月	測量・設計等の全ての入札について実施

電子入札の導入

本市では、競争性等の向上のため、電子入札の導入を進めてきました。

平成 16 年 7 月	調達情報サービスシステム（※）の運用開始 ※発注見通しや入札予定等をインターネットで提供するシステム
平成 16 年 11 月	入札参加者登録システム（※）の運用開始 ※競争入札参加申請をインターネットで受け付けるシステム
平成 17 年 9 月	電子入札システム（※）の運用開始 ※インターネットを利用して入札を実施するシステム
平成 18 年 6 月	全ての入札を対象に電子入札の実施

(用語の解説)

一般競争入札

入札参加資格要件を満たす事業者であれば入札に参加することが可能であり、競争性・公正性が高い入札方式ですが、指名競争入札に比べて入札手続に時間を必要とします。

指名競争入札

市が適正な能力がある事業者をあらかじめ選定して競争させる入札方式で、一般競争入札に比べて効率的に入札手続を進めることができます。

※本市における工事の指名者数は、原則として6者以上となります。

総価契約

総額を請負金額とする契約

単価契約

作業や資材の1単位あたりの単価で契約し、出来高に応じて代金を支払う契約

平均落札率

全件分析などに掲載されている平均落札率は、単純平均で示しています。また、本市では低価格入札への対応として、最低制限価格制度及び低入札価格調査制度を導入しており、一定の価格を下回る入札をした入札者は落札者となることができません。

(例) A業種3件の平均落札率の算出方法

※3件の落札率(注1)がそれぞれ70%、80%、90%だった場合。

※それぞれの予定価格及び落札金額の大小は考慮していません。

$$\text{平均落札率} = \frac{70+80+90}{3} (\%) = 80\%$$

(注1) 落札率…予定価格(注2)に対する落札金額の割合(パーセント)のことです。

$$\text{落札率} = \frac{\text{落札金額}}{\text{予定価格}} \times 100 (\%)$$

(注2) 予定価格…契約を締結するにあたって材料費や労務費などを考慮して積算し設定する上限価格です。